



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月30日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
 コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 竹内 義之

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	92,791	6.6	8,084	3.6	8,399	3.6	4,832	2.0
2019年3月期第3四半期	87,011	11.6	7,803	12.5	8,108	11.8	4,739	14.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,750百万円 (5.0%) 2019年3月期第3四半期 5,478百万円 (10.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	254.26	
2019年3月期第3四半期	249.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	123,993	68,380	48.4
2019年3月期	119,184	64,614	47.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 60,051百万円 2019年3月期 56,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		35.00	65.00
2020年3月期		35.00			
2020年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	4.4	10,500	5.9	10,800	4.2	6,200	5.0	326.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	19,012,000 株	2019年3月期	19,012,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	6,715 株	2019年3月期	6,682 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	19,005,300 株	2019年3月期3Q	19,005,370 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策により企業収益や設備投資には底堅さが見られ緩やかな回復基調にあるものの、消費増税による消費マインド落込みへの懸念、米中貿易摩擦の長期化や海外の不安定な政治動向等が与える影響により、依然として先行き不透明な状況にあります。

当業界におきましても、原油価格の不安定な状況や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益927億91百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益80億84百万円（同3.6%増）、経常利益83億99百万円（同3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益48億32百万円（同2.0%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、518億53百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益は、59億16百万円（同16.8%増）となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託したセンターが順次業績に寄与したこと、2018年12月に㈱HMKロジサービスを子会社化したことによるものであります。

また、新規受託の概況につきましては、12社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した1社を含めた13社のうち10社が稼働しております。残りの3社につきましては、2020年1月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

なお、物流センターの総数は、前連結会計年度末から4センター増加して119センターとなっております。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、409億38百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は、21億61百万円（同20.9%減）となりました。

営業収益につきましては、運賃値上げ交渉や連結子会社の増加はあったものの、稼働日減少等による特別積合事業での物量減少の影響で25百万円減少いたしました。営業利益につきましては、営業収益の減少に加え、配達にかかる外注費の増加にともない5億69百万円減少しております。

今後につきましては、営業収益確保にむけ、運賃値上げ交渉及び物量確保等を継続してまいります。また、近物レックス㈱にて新たに建設した札幌支店へ当社の札幌営業所を移動することで、2020年1月より施設の共同利用の開始を予定しております。グループ会社間のシナジー強化を図り、更なる業務の効率化も進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比48億8百万円増加し、1,239億93百万円となりました。これは主に、現金及び預金と受取手形及び売掛金の増加により流動資産が25億53百万円増加したこと、設備投資により固定資産が22億55百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比10億42百万円増加し、556億12百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が10億52百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比37億65百万円増加し、683億80百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益48億32百万円の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の47.4%から48.4%へと増加しております。

なお、これらの財政状態の変動には、連結子会社の増加による影響も含まれております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想といたしましては、2019年5月9日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

なお、軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しており、軽油単価の変動による影響は、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間34百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,800	15,399
受取手形及び売掛金	15,549	17,103
商品	5	3
貯蔵品	166	176
その他	1,519	1,919
貸倒引当金	△230	△237
流動資産合計	31,810	34,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,339	29,419
土地	40,514	41,716
その他(純額)	10,747	10,514
有形固定資産合計	79,602	81,650
無形固定資産	2,567	2,664
投資その他の資産	5,204	5,314
固定資産合計	87,373	89,629
資産合計	119,184	123,993
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,765	8,817
短期借入金	17,687	16,873
未払法人税等	2,108	844
賞与引当金	1,083	558
役員賞与引当金	28	-
厚生年金基金解散損失引当金	49	49
その他	7,817	9,173
流動負債合計	36,539	36,316
固定負債		
長期借入金	4,598	5,668
退職給付に係る負債	6,126	6,031
厚生年金基金解散損失引当金	224	187
その他	7,080	7,408
固定負債合計	18,030	19,296
負債合計	54,570	55,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,466	6,445
利益剰余金	43,469	46,971
自己株式	△10	△10
株主資本合計	56,472	59,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	258
退職給付に係る調整累計額	△217	△160
その他の包括利益累計額合計	48	98
非支配株主持分	8,093	8,328
純資産合計	64,614	68,380
負債純資産合計	119,184	123,993

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益	87,011	92,791
営業原価	77,016	82,282
営業総利益	9,994	10,509
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	10	6
役員報酬	488	518
給料及び手当	431	530
賞与引当金繰入額	52	55
役員賞与引当金繰入額	21	-
退職給付費用	23	24
その他	1,163	1,289
販売費及び一般管理費合計	2,191	2,425
営業利益	7,803	8,084
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	39	51
固定資産売却益	76	68
助成金収入	25	17
売電収入	314	296
雑収入	225	240
営業外収益合計	680	674
営業外費用		
支払利息	125	117
売電原価	183	178
雑損失	66	63
営業外費用合計	375	359
経常利益	8,108	8,399
特別利益		
投資有価証券売却益	83	-
特別利益合計	83	-
税金等調整前四半期純利益	8,191	8,399
法人税、住民税及び事業税	2,511	2,413
法人税等調整額	118	307
法人税等合計	2,630	2,721
四半期純利益	5,561	5,678
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,739	4,832
非支配株主に帰属する四半期純利益	822	846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△135	△3
退職給付に係る調整額	52	75
その他の包括利益合計	△83	72
四半期包括利益	5,478	5,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,666	4,882
非支配株主に係る四半期包括利益	811	868

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	46,048	40,963	87,011	-	87,011
セグメント間の内部売上高 又は振替高	143	1,551	1,694	△1,694	-
計	46,191	42,514	88,706	△1,694	87,011
セグメント利益	5,066	2,731	7,797	5	7,803

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物流センター事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社HMKロジサービスの株式を取得し連結子会社化したことに伴い、のれんを114百万円計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	51,853	40,938	92,791	-	92,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130	1,401	1,532	△1,532	-
計	51,984	42,339	94,323	△1,532	92,791
セグメント利益	5,916	2,161	8,078	6	8,084

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。